

幸せごはん

～わが家の台所から～



豚肉の豆苗巻き

はなだれお
花田滯央さん (広崎4町内)

小4のとき、初めて一人でスクランブルエッグを作ったことをきっかけに、料理に興味を持ちました。現在は調理師として、熊本市中央区の飲食店で腕を磨いています。

食べることが大好きな家族。調理師だった父と台所に立つ時間も楽しく、母やきょうだいたちはうれしそうに出来上がりを待っています。



レシピ

【材料】

豚バラ肉200g、豆苗1パック、A(濃口しょうゆ大4、みりん大3、すりおろしニンニク小1)

【作り方】

- ①豚バラ肉を一枚ずつずらして並べ、半分に切る。
- ②豚肉に豆苗の半分の量をそれぞれに巻いて2個作り、フライパンで巻き目を下にして焼く。
- ③肉に火が通ったらAを回しかけ、なじませて完成。

パパッともう一品



ネギとサラダチキンのごま酢和え
サラダチキンをほぐし、千切りにしたネギ、たれ(しょうゆ大3、酢大4、ゴマ油とゴマは適宜)を混ぜ合わせる。



キュウリのユカリ和え
薄く輪切りにしたキュウリを塩もみし、ユカリと混ぜ合わせる。

わがまち散歩



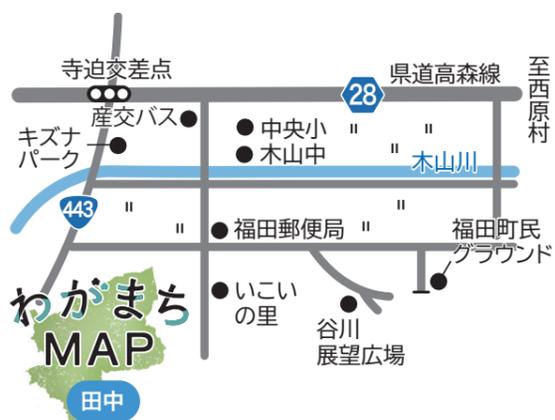
上/おしゃべりする声にも張りがある安田さん。右/安田家の敷地の一角に祭られている「馬頭観音」



ただけ。そつでん伝統的な祭事が引き継がれていくとだけ、私はよかて思うよ」と話すのは、93歳になる安田ツチエさんです。

かくしゃくとして、声も大きく耳も遠くない安田さんが元気に過ごしているのは、観音様のご利益かもしれないね。

そんな安田さんの楽しみはカラオケ。最近のお気に入りには「美唄の風」とか。「半ポップス系の歌だね」と、93歳の口から飛び出した言葉に思わず驚かされます。これからもお元気で、高らかな歌声を聞かせてください。



散歩の終わりに

福田郵便局からの一本道を歩いていくと、道沿いに並ぶ家々の庭先には鮮やかな花々。「ピピ」と田んぼの方から聞こえてくるのはヒバリの鳴き声でしょうか。自然が奏でる音が鮮明に耳に届く、そんな美しい風景が私たちの町には今も多く残っています。

今回の散歩でも行く先々で温かく迎えていただき、あちこちで笑いの花が咲きました。この日の出会いに、感謝。

息を吹き返した、遠い記憶

「掃除が趣味」という松本淳子さんのお宅はまさにその言葉どおり、家の隅々までピカピカです。子どもや孫、ひ孫の写真を飾ったコーナーに、幼い姉妹が並んで写るモノクロの写真がありました。

松本さんが小学校に上がる前に、2歳年下の妹のまき子さんと写真館



「南阿蘇の季節ごとの風景が大好きでよく訪れます」という松本さん



AIで色を添えてみると、驚くほど鮮明に生き生きと蘇ります



70年ほど前に撮影した、松本さんと妹さんの写真

電気のホームドクター

「電球1個でも交換にうかがいます」と話すのは、電気工事の仕事に従事する村上良則さん。「高齢者のお宅に電球交換に行ったとき『買い物してくるけん』と言われ、そのまま留守番をしていたこともあり、アンテナ工事で屋根に上ったときは、雨どいの掃除をこそつとしておくこともあります」と笑う温厚な人柄の良則さん。

そんな良則さんの横で妻のイツ子さんは「電気のホームドクターみたいなものでしょうか。電気屋だけに、電球みたいに光る主人の頭が看板です」と身内ならではの突っ込みに、思わず吹き出してしまいました。

良則さんにはこんなエピソードも。「私の手にはよく虫が止まると



です。去年の夏、タマムシが手に止まったかと思ったらなかなか離れなくて…。卵を産み付けようとしていたんです。『ごめんね』と草むらに移動してやりました。バッタやチョウもよく止まるとです」と苦笑します。

快晴となったその日、村上さん夫婦は庭先で昼食。テーブルにはイツ子さんの手料理がずらりと並びます。「全部、冷凍しておいたもの。野菜をたくさんいただいたときは、何種類か料理を作って冷凍しておくんです。唐揚げも多めに作り冷凍しておけば、解凍するだけですぐに食べられるでしょ」とイツ子さん。

庭先に流れる時間からは、穏やかな日々を楽しみながら暮らす夫婦の仲の良さが伝わってきました。

お観音さんを守って



自宅敷地の一角に馬頭観音が祭られている安田家。お堂が建っている場所は正確には地域の土地ですが、長年にわたり安田家が大切に守り続けてきました。毎年、2月18日には氏子たちによって受け継がれてきた祭礼「座祭り」が行われます。また6月の最終日曜日には、田植えを終えた労をねぎらい豊作を祈る祭事「願立て」も執り行われます。

「昔は組内で餅をついて配ったり、料理ば作ってふるまいよったばって、近年はお観音さんにお参りする

- ①天気の良い日は、軒先にテーブルを置いて食事を楽しむという村上さん夫婦
- ②気さくな村上さん夫婦と話していると時間が経つのも忘れれます。③テーブルに並べられたイツ子さんの手料理の数々。どれも冷凍しておいたものを解凍しただけです。